

平成28年度 施設指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市関前高齢者生活福祉センター
所在地	今治市関前岡村甲2525-1
指定管理者	<p>名称 社会福祉法人 今治市社会福祉協議会</p> <p>代表者 会長 片上 修二郎</p> <p>住所 今治市南宝来町1丁目9-8</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>健康福祉部 高齢介護課</p> <p>TEL:0898-36-1526</p> <p>E-mail:kourei@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	B	<p>入居希望者、地域の住民の方が理解しやすいパンフレットや支部だよりを作成・配布して周知を図りました。新規入居者やその家族の方や施設の間い合わせ・施設内見学時は、丁寧に施設の目的や運営方針を説明し周知に努めた。毎月の地域ケア会議において利用状況及び現状報告を継続し利用を促進している。また、入居希望者、本人及び家族に対して施設内での生活や利用料金についてわかりやすい資料を作成して丁寧に説明を行っている。現在入居中の利用者様の健康管理に十分注意し、いつまでも楽しく暮らしていただけるようお手伝いをしていきたいと考えています。</p>	B	<p>施設の設置目的や管理運営の基本方針を理解し、適切な運営が行われている。入居希望者には丁寧に施設運営方針等を説明し、入居者が安心して利用できる体制づくりに努めている。</p>
利用状況	B	<p>H27年度と比べると、平均及び合計人数ともに減少してしまいました。また、新規入居者は1名だったので、全居室を利用していただけるようケア会議や支部便りでPR等を行っていききたい。</p>	B	<p>利用者が安心して生活できる環境が提供できている。</p>
事業収支	A	<p>入居者の安全な生活支援が出来るように環境整備を常に考えていくことを心掛けた。また、無駄のないように経費節減に努め、予算内で納めることができた。</p>	A	<p>法人の事務決裁規程及び経理規程を遵守し、予算に基づいた執行がなされ、経費削減にも努められている。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営体制	A	職員派遣研修において研修に参加し、より良いサービスの提供を向上させるよう努めた。今年度も調理員研修会に参加し、衛生管理や調理実習を行うことでレベルアップすることができた。	A	派遣研修にも積極的に取り組んでおり、職員のスキルアップに努められている。
管理運営業務	A	環境整備及び清掃においてデイ開館日には毎日、職員が隅々まで清掃活動を行った。浴槽濾過機や変電設備については、適切な点検業者を選定しました。今後も適切な点検対応を行ない最善な運営を心がけていきたい。	A	植栽管理、清掃管理、保守点検、警備、保険加入などの各種管理業務は適切に行われている。入居者が安心安全に生活できるように努められている。
利用業務	A	広報活動に積極的に取り組み、高齢者生活福祉センターでの生活の様子等を支部便りに掲載することによって、地域住民の周知に繋がった。ケア会議等に参加し、民生委員との連携により利用状況及び現状報告を行ない、利用を促進している。また、入居相談や施設見学も丁寧に行うことを心がけており、パンフレットや支部便り、利用料金表等を使いわかりやすく説明を行っています。	B	目標達成度の分析に取り組んでいただき利用促進に繋げていただきたい。パブリシティへの情報提供に取り組み地域福祉の実績を広報していただきたい。
その他業務	A	各種マニュアルを整備し、事故防止、災害時対応ともに基準を満たし、避難訓練も積極的におこなうことが出来た。避難訓練後も勉強会を行い、いざというときのために備えて頂くよう周知を行った。また、支部便りを年7回配布し、センターでの生活や魅力を知っていただくようPRを行った。	A	危機管理マニュアル、個人情報の取扱い規程などの必要なマニュアルは整備されている。事故及び災害等の緊急時における連絡網の整備、関係機関との連携も図られている。避難訓練やその後の勉強会など安全対策が手厚く行われている。館内禁煙は実施できているが、法人及び施設の性格に鑑みると、常時敷地内禁煙が望まれる。
修繕業務	A	天窓部の内装及び外裝修繕を行い、気持ちよくなつ安全にセンターに入居して頂くことが出来ました。また、快適な生活を送っていただけるよう網戸の張替をおこないました。今後も安心・安全に気持ちよく生活して頂けるように最善な修繕を心がけます。	A	利用者が安全に生活できるよう適切な修繕が行われている。
備品管理業務	A	家電製品の故障が多くなってきているので、買い替え時には優先順位を考えながら最善な備品購入を心がけます。	A	入居者が安全で快適な生活を維持できるよう適正に購入・管理している。
行政財産の目的外使用許可 手続業務	-	該当なし	-	該当なし
自主事業	B	福祉センター入居者の方の孤独感の解消は大変重要であり、その対策を強化して実施した。特に、関前での社会資源である小学校、中学校はとても大切で、このような子ども達との交流事業は入居者の方々に大変好評で今年度においても積極的に取り組むことができた。	B	地域福祉を推進する事業として評価できる。
地域団体との連携	A	居住利用者にとって地域の子供たちや婦人会と交流することにより、より生きる力が湧くと共に地域の中でのつながりづくりが大事であり、小学校、中学校や婦人会との連携による取り組みが積極的に行うことができました。	A	地域団体と連携、協力が図られている。小中学校との交流の維持に努力されており、今後も維持発展させていただきたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用者アンケート	A	アンケート調査によりの確にニーズを把握し、改善に努める。また、利用者及び家族が率直な意見を言いやすい環境をつくり、日頃からニーズの把握に努めます。	B	アンケート結果の公表については、結果の掲示等の方法により利用者や家族に公表されたい。
事故・苦情	A	利用者だけでなく、利用者の家族とも意見の出やすい環境づくりを行ない、ニーズに対応できる環境整備に努める。	A	事故・苦情についての実績はなかったが、今後も事故・苦情等がないように普段から研修等に取り組んでいただきたい。
指定管理者の経営状態			監査報告書により適正に執行されていることが報告されている。指定管理者として健全な経営状況にあるものと認められる。	

総合コメント

指定管理業務は仕様書に基づき適正に実施されていと評価できる。入居者が安全で快適な生活を維持できるよう住環境の整備を図っている。また、地元の小中学校・婦人会と連携した自主事業に努力されている。今後も、地域団体との連携をさらに強め、地域に根ざした事業を実施し、地域福祉の推進を期待する。